

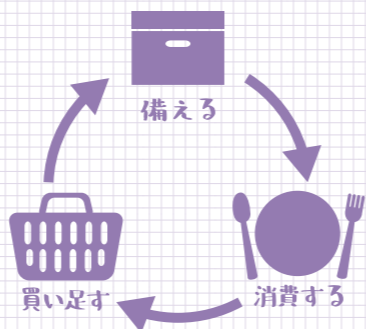
備え・その 2

わが家の非常用備蓄品は大丈夫？

災害が起こった時は、電気やガス、水道などのライフラインが止まり、生活に必要なものも手に入らなくなる場合があります。そうした場合に備えて、家族が3日～1週間ほど生活できる水や食料などを備蓄しておくことで安心です。

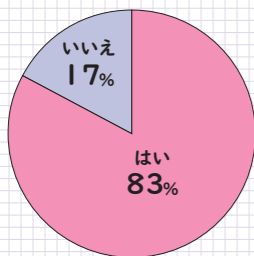
ローリングストックって？

普段から日持ちする食品や日用品を少し多めに買って置き、使った分だけ買い足していく備蓄法です。この方法なら、賞味期限切れを防ぎ、食べ慣れたものを無理なく備蓄できます。



組合員に聞きました！

Q1 家庭でローリングストックを行っていますか？



Q2 どのようなものをストックしていますか？

水
常時2箱ストックしてあるので、飲みたいときに飲んだ後、少しずつ買い足しています。
(岐阜市 ベルちゃんさん)

co-op あずみ野の水 2L×6
本体価格:598円 税込価格:645円
賞味期限:2年 次回予定 9月2週



ロングライフパン
コモパンを箱単位で購入しています。次回購入が1か月後なので、1か月で回す感じです。
(可児市 さつきちゃんさん)

コモの毎日クロワッサン 20個
本体価格:1,100円
税込価格:1,188円
賞味期限:35日
次回予定 9月2週



備蓄方法&場所(こんな工夫をしています！)

普段、食べている材料をストックして、使用したタイミングで購入しています。月に1回、家族で賞味期限の近いものを整理して早く使い切るようにしています。
(大垣市 あられちゃんさん)

備蓄品はキッチン横の食品庫と玄関に置いてある持ち出し袋の両方に入れています。家の中が地震でぐちゃぐちゃになった時、玄関にあると取り出しやすいと聞いたので、水のペットボトルも置いています。
(高山市 なのさん)

外の小屋に備蓄しています。備蓄してあっても家が壊れたら取り出せないですし、小屋なら壊れても少し片づければ取り出せるので。
(各務原市 姿羅双樹さん)

備蓄食品は登山用のリュックに入れています。機能性が高いので、避難で持ち歩くときに少しでも楽に持てるのではないかと思います。
(各務原市 ふゆさん)

外の倉庫の中にも入れています。家に入れない状態の時に役立つと思います。
(各務原市 白茶縞さん)

Q3 過去の災害経験から備えていることや、普段から意識していることは？

地震に備える

寝室にタンスがあったので、倒れてくると危ないので、タンスを別の部屋に移しました。
(大野町 よっしーさん)

普段から意識していることは、今このときに地震が起きたら、どこの下にもぐり込もうかということです。
(大野町 ノー天気母さん)

停電に備える

先日停電になり、ランタンとラジオで急場をしのぎましたが、家に置いてある電池のストックが切れていました。電池の補充と情報源となる携帯の充電、モバイルバッテリーの充電等は意識してやっています。
(多治見市 ポッチムさん)

電話は繋がりにくくなると思うので、連絡手段はLINEや災害伝言ダイヤルなどを使おうと思っています。
(岐阜市 ありがとうさん)

断水に備える

4年前に断水になったことがあります。給水車が来ましたが、水を入れるポリタンクが売り切れでした。幸い実家から分けてもらえましたが、それ以来ポリタンクやペットボトルの水は玄関に常備です。
(美濃加茂市 クーさん)

備蓄品について

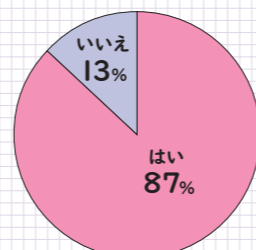
メガネが見つからなくてもなんとかなるように、非常持ち出し袋に使い捨てコンタクトを入れています。避難時に足を怪我しないよう、履かなくなった靴を枕元に置いています。
(瑞穂市 tanacoさん)

東日本大震災の時に茨城にいて、ライフラインが1週間止まりました。その時に、近くのスーパーやドラッグストアがパンやお菓子を配ってくれましたが、タンパク質がなかったので備蓄のレトルトはタンパク質を中心にしています。
(本巣市 みゆっきーさん)



組合員に聞きました！

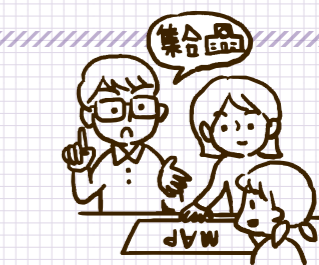
Q1 地域のハザードマップを見たことはありますか？



Q2 それをきっかけに家族でどんなことを話し合いましたか？

日中バラバラな家族が最後に集まる場所を話し合いました。
(関ヶ原町 スエズ運河さん)

近くの細い川がどこへ繋がっているのか、歩いて確かめました。
(岐阜市 りなママさん)



避難場所や家周りの浸水予測などを話し合いました。
(羽島市 きなころりんさん)

備え・その 1 地域のハザードマップをチェックしよう！

ハザードマップは、水害や土砂災害、地震など災害ごとに、危険と思われる箇所が色分けされ、住んでいる地域にどんな災害の危険性があるかを確認できる地図です。ハザードマップを活用すれば、起こり得る災害が分かるだけでなく、もしもの時の避難場所や避難経路を知ることができます。

ハザードマップの使い方

自宅周辺のハザードマップを準備し、災害が起こった時にその地域がどんな影響を受けるかを確認します。その後、災害が起きた時の指定緊急避難場所、危険が少ない避難ルート、避難のタイミングなどを家族でチェックしましょう！



どこで見られるの？

ハザードマップは各自治体のホームページや、国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」で確認することができます。
ハザードマップポータルサイト(国土交通省)



ココをチェック！

- 住んでいる場所はどんな災害の影響が大きい？
- 災害が起こった時の危険な場所は？
- 近くにある避難場所は？
- 安全に避難できるルートは？



もしもに備える!
わが家の防災

いつ起こるか分からない自然災害。特に近年は、毎年のように全国各地で大規模な災害が発生しています。大切な家族の命や暮らしを守るために、自分が住むまちで起こり得る危険を知って、日頃から備えを万全にしておくことが大切です。

